

消 息

日本医史学会関西支部一九九四（平成六）年春季大会

共 催 京都医学史研究会

と き 六月二十六日（日）午前九時半から

と ころ 京大会館（京都市左京区吉田河原町一五一九）

開会のことば……………長門谷洋治

一、A・リシユランについて―幕末蘭学生生理学書の

フランス人原著者……………石田 純郎（新見女子短大）

二、ミード博士（一八世紀）とミス・ナイチンゲール（一九世紀）

聖トマス病院……………栗本 宗治（大阪医大）

三、亜酸化窒素ガスの麻酔作用発見者ハンフリー・デーヴィー

―その交友ならびに詩人としての一面

……………藤田 俊夫（京 都 市）

四、Ludwig Aschoff 教授著『極東の医学とミッション』に

見られる中日両国の医学界……………安田 純一（西 宮 市）

五、難波抱節伝（一）……………中山 沃（西 宮 市）

六、永富独嘯庵『漫遊雜記』にみる神経症概念について

……………小曾戸明子（八王子市）

七、呉に来た初期の海軍軍医たち……………江川 義雄（廿日市市）

八、土井利忠旧蔵の新約聖書について

……………岩治 勇一（大野市）

九、天保飢饉時津藩の救荒事業の広がり

（伊勢・京都・但馬など）……………茅原 弘（津 市）

一〇、天保飢饉と京都鳩居堂の食養生啓蒙

……………寺畑 喜朔（金沢医大）

二、大阪医学校における精神病学の講義筆記録

『後藤ノート』について……………正橋 剛二（富山市）

三、岸駒作「神農像」展示……………正橋 剛二（富山市）

三、潮湯治と海水浴……………宗田 一（京都市）

一四、「姫路予備病院城崎転地療養所報告」から―日露戦争に

おける帰還傷病兵の療養施設……………奥沢 康正（京都市）

一五、藤浪先生病症記（半井朴氏絵）・葬送記（太田喜一郎氏画）

について……………杉立 義一（京都市）

一六、企画展「病と祈りの歳時記」について

……………伊藤 恭子（くすり博物館）

特別講演・日本中世の母性尊重観と墮地獄・穢れ思想

……………大阪外国語大学教授 脇田 晴子

閉会のことば……………杉立 義一

（長門谷洋治）